

## 物価上昇時でも着実な利益成長が見込める銘柄に注目

岡三フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド(為替ヘッジあり)/(為替ヘッジなし)  
愛称 ザ・ディスカバリー  
追加型投信/内外/株式

## 足元の株式市場と為替市場の動き

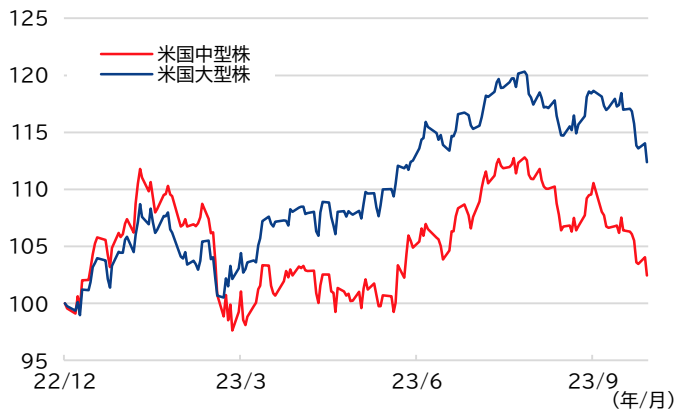
年初来の株式市場は、金利上昇の影響を受けた金融機関の経営不安から一時的に下落する局面はありましたが、インフレ圧力及び利上げペース緩和への期待や、生成AIをはじめとした先進技術への期待などから、概ね底堅い推移となっています。また、米国景気が懸念されたほどには悪化していないことも投資家心理の改善につながり、昨年特に下落幅が大きかった情報技術セクターや、景気循環の影響を受けやすい資本財・サービスセクターなどが上昇をけん引しています。

また、米国大型株と米国中型株を比較すると、足元においても大型株優位の展開が継続している状況です(図表1)。一方で、足元のバリュエーションをみると予想PBR、予想PERともに大型株と比べて中型株が割安な水準となっています(図表2)。こうしたことから今後、中型株のバリュエーション修正に期待が持てると考えています。

為替市場では、年初来でドル/円の上昇基調が続いています。3月の欧米金融機関への懸念が高まった局面や、7月の日銀の金融政策が修正されるとの見方が強まった局面においてはドル/円下落の動きが見られたものの、米国債金利の上昇に伴う日米の金利差拡大を背景に、ドル/円は上値を試す展開が続きました。今後は、米金利上昇と急速な円安進行に対する警戒感との綱引きの展開が予想されます。短期的には、米大統領選挙を控え投資家のリスク回避姿勢が強まる可能性があることや、日銀による為替介入への警戒感などから円高方向への揺り戻しの動きも想定されます。

図表1 米国大型株、中型株の推移

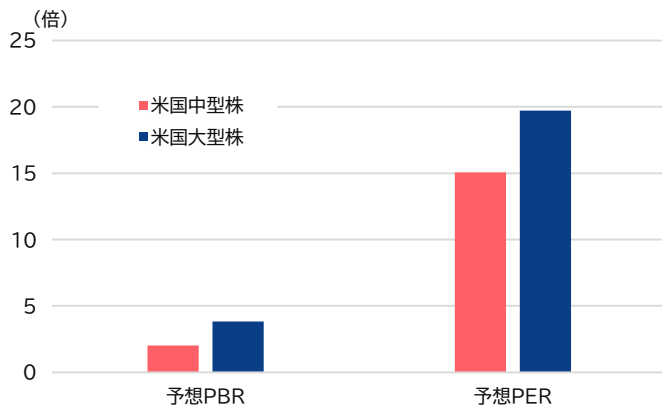
(期間 2022年12月29日～2023年9月26日、日次、配当込み)



※2022年12月29日を100として指数化

図表2 予想PBR、予想PER

(2023年9月27日時点)



※米国中型株はS&amp;P中型株400種指数、米国大型株はS&amp;P500種指数を使用。

(図表1～2の出所) Bloombergのデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

## 一本資料に関してご留意いただきたい事項一

■本資料は、情報提供を目的としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

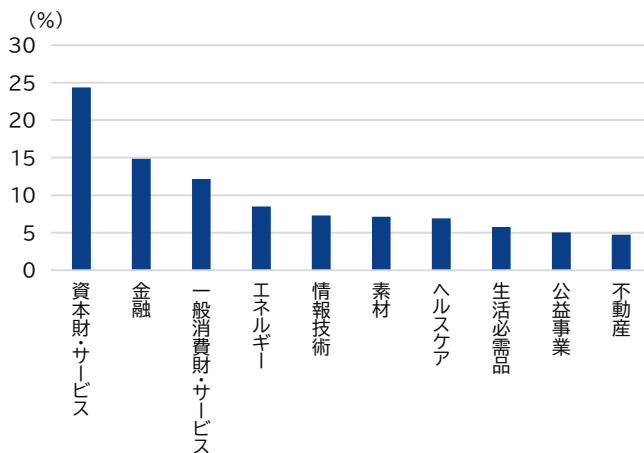
## ファンドにおける運用経過と当面の市場見通し

ファンドにおいては、引き続きボトム・アップ・アプローチによるファンダメンタルズ分析を通じて企業収益の拡大及び株価の上昇が見込める銘柄を選別しました。足元にかけて長期金利の上昇にもかかわらず大型のグロース銘柄の上昇が目立ちますが、市場のボラティリティは高く、市場参加者が楽観的なシナリオに傾斜している点には注意が必要と考えています。セクター内でも銘柄ごとのバリュエーションの格差がみられており、本来の企業価値に対して適切な株価であるかどうかを慎重に見極めながら運用を行っています。金融引き締めや物価上昇を背景に、消費者にとっては厳しい環境が続きやすいと見込んでおり、そうしたなかでも**着実な利益成長が見込める銘柄の組入れ**を行っております(図表3)。

情報技術セクターのようにバリュエーションが割高なセクターの中にも投資妙味の高い銘柄が含まれており、ボトム・アップの企業調査による選別が重要と考えています。企業ファンダメンタルズに着目する運用方針はマクロ動向によって変化することではなく、市場が気付いておらず、着実かつ大幅な利益成長が見込める銘柄を徹底した分析で見いだすことに注力します。ボラティリティが高まりやすい今のような局面は、市場が見誤っている有望な銘柄に割安な株価で投資をする好機につながります。引き続き、徹底した企業調査を行い、市場の見誤りに気付き、確信を持てる優れた企業に投資することで、長期的な運用成果を目指す方針です。

図表3 マザーファンドにおける業種別組入比率

(2023年8月末時点)



図表4 マザーファンドにおける組入上位10銘柄

(2023年8月末時点)

順位	銘柄名	セクター	国地域	比率
1	モリーナ・ヘルスケア	ヘルスケア	アメリカ	1.9%
2	ヘス	エネルギー	アメリカ	1.8%
3	アーチ・キャピタル・グループ	金融	バミューダ (英領)	1.8%
4	インベリアル・オイル	エネルギー	カナダ	1.6%
5	エイコム	資本財・サービス	アメリカ	1.6%
6	シェニエール・エナジー	エネルギー	アメリカ	1.5%
7	リーガル・レックスノード	資本財・サービス	アメリカ	1.4%
8	パフォーマンス・フード・グループ	生活必需品	アメリカ	1.4%
9	アメリカン・ファイナンシャル・グループ	金融	アメリカ	1.3%
10	ウイングダム・ホテルズ・アンド・リゾーツ	一般消費財・サービス	アメリカ	1.3%

※比率は、「フィデリティ・グローバル・コア株式マザーファンド」の純資産総額に対する比率です。

(図表3~4の出所)フィデリティ投信のデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

### 一本資料に関してご留意いただきたい事項

■本資料は、情報提供を目的としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

## 注目銘柄のご紹介

### ウィンダム・ホテルズ・アンド・リゾーツ（米国：一般消費財・サービスセクター）

現在注目している銘柄が、グローバルにホテル・チェーンを展開するウィンダム・ホテルズ・アンド・リゾーツです。同社はおよそ100カ国で20を超えるホテル・ブランドを展開し、世界最大となる9000を超えるホテル運営を行っています。同社は長期滞在向けホテルを持つことから、コロナ禍においても医療関係者や建設業者等からの利用によって、業績の落ち込みは競合他社に比べ限定的で、株価も迅速な回復がみられました。今後もコロナ禍から通常の事業環境に戻るなかで高マージンの新規客室の稼働が収益向上につながると予想されます。

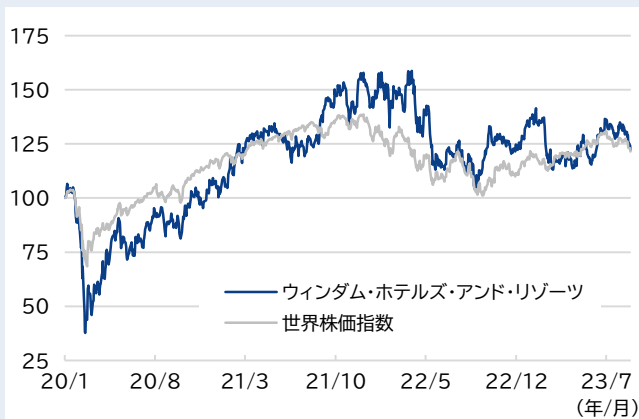


※上記はイメージ図です。

また、ビジネス利用とレジャー利用の両方に対応できるブランドを持つことで、経済活動再開の恩恵を幅広く受けられることに加え、比較的手頃な宿泊価格のホテルを運営していることから、景気悪化で消費者が支出を抑制するような環境でも一定の需要が期待できるとみられます。これらに加えて、足元でも積極的な自社株買いが今後も実施されることによって今後の予想EPSも上昇していくことが考えられます。

図表5 コロナ禍以降の株価推移

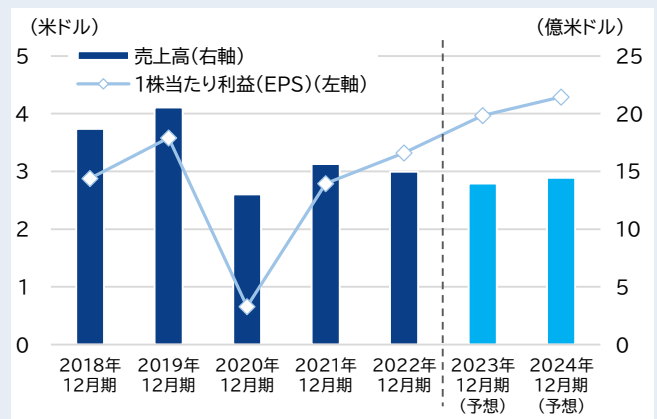
（期間 2020年1月31日～2023年9月26日、日次）



※2020年1月31日を100として指数化  
 ※世界株式指数はMSCIワールド指数を使用。  
 MSCI指数はMSCI Inc. が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

図表6 EPS、売上高の推移

（期間 2018年～2024年、年次、予想を含む）



（図表5～6の出所） Bloombergのデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

※上記は、個別銘柄の推奨を目的として示したのではなく、当該銘柄の株価の上昇および投資先ファンドへの組入れを保証するものではありません。

#### 一本資料に関してご留意いただきたい事項一

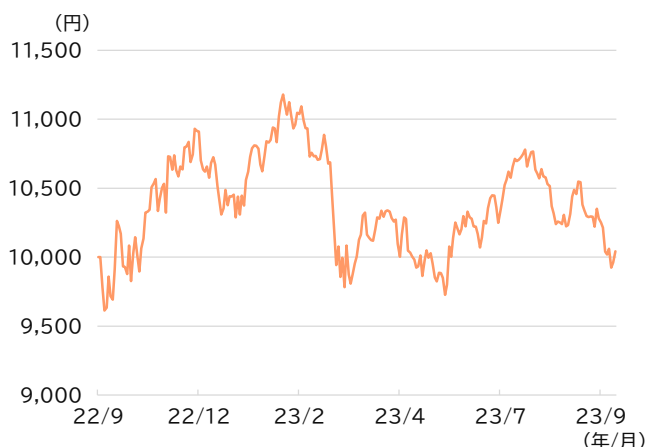
■本資料は、情報提供を目的としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

## 運用状況 (作成基準日 2023年9月29日)

### <為替ヘッジあり>

#### 基準価額の推移

(2022年9月21日～2023年9月29日、日次)



#### ファンドデータ

基準価額	10,042円
残存元本	2,197百万円
純資産総額	2,206百万円

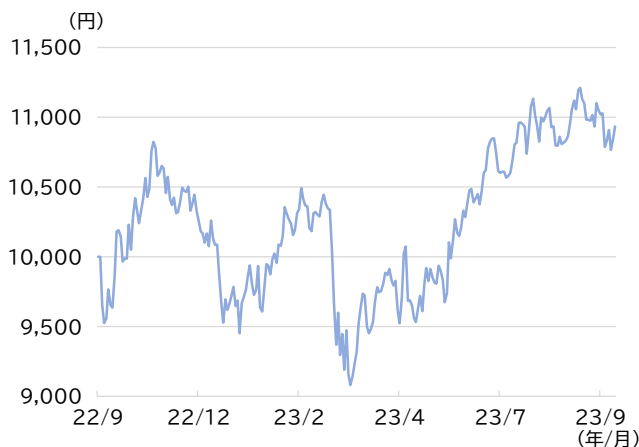
#### ポートフォリオ構成比率

フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド (為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)	96.1%
マネー・インベストメント・マザーファンドⅡ	0.2%
短期金融商品その他	3.7%

### <為替ヘッジなし>

#### 基準価額の推移

(2022年9月21日～2023年9月29日、日次)



#### ファンドデータ

基準価額	10,934円
残存元本	10,307百万円
純資産総額	11,269百万円

#### ポートフォリオ構成比率

フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド (為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	98.1%
マネー・インベストメント・マザーファンドⅡ	0.2%
短期金融商品その他	1.7%

※上記のグラフの基準価額は1万円当たり、信託報酬控除後です。 ※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

### —本資料に関してご留意いただきたい事項—

■本資料は、情報提供を目的としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



# 岡三フィデリティ・グローバル・コア株式ファンドに関する留意事項

## 【SBI岡三アセットマネジメントについて】

商号：SBI岡三アセットマネジメント株式会社

SBI岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長(金商)第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

## 【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様に帰属します。ファンドは、国内外の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
  - ファンドの主な基準価額の変動要因としては、各ファンド共通のリスクとして「株価変動リスク」、「流動性リスク」、「信用リスク」、「カントリーリスク」、各ファンド個別のリスクとして「為替変動リスク」があります。
- ※ 基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

## 【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
  - 投資信託は預金商品、保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。投資信託の設定・運用は投資信託委託会社が行います。
  - ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要がある場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込の受付が中止となる可能性、換金代金の支払が遅延する可能性があります。
  - 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。
  - 投資対象とする投資信託証券にかかる購入・換金申込みの受付の中止および取消、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受けた購入・換金申込みの受付を取消することがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご参照ください。

## 【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
  - 購入時手数料 : 購入金額(購入価額×購入口数)×上限3.3% (税抜3.0%)  
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
  - 換金手数料 : ありません。
  - 信託財産留保額 : ありません。

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中
  - 運用管理費用(信託報酬)
    - : 純資産総額×年率1.265%(税抜1.15%)
  - 運用管理費用(信託報酬)の実質的な負担
    - : 純資産総額×年率1.98%(税抜1.80%)程度
    - 実質的な負担とは、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬を含めた報酬です。
    - なお、実質的な運用管理費用(信託報酬)は目安であり、投資信託証券の実際の組入比率により変動します。
- その他費用・手数料
  - 監査費用 : 純資産総額×年率0.0132%(税抜0.012%)
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用、受託会社の立替えた立替金の利息、借入金の利息等を投資信託財産でご負担いただきます。また、投資対象とする投資信託証券に係る前記の費用等を間接的にご負担いただきます。

- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご参照ください。

岡三フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド(為替ヘッジあり)/(為替ヘッジなし)  
 愛称 ザ・ディスカバリー  
 追加型投信/内外/株式

## 販売会社

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次証券会社が含まれる場合があります。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
<b>(金融商品取引業者)</b>					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
株式会社証券ジャパン	関東財務局長(金商)第170号	○	○		
益茂証券株式会社	北陸財務局長(金商)第12号	○			
JIA証券株式会社	関東財務局長(金商)第2444号	○			○
野畑証券株式会社	東海財務局長(金商)第18号	○			○

※岡三証券株式会社は、一般社団法人日本暗号資産取引業協会にも加入しております。

<本資料に関するお問合わせ先>

フリーダイヤル 0120-048-214 (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)